



たかはし浩司

町政活動報告

第3号

令和2年2月



発行者/たかはし浩司後援会 〒515-0317 多気郡明和町大字池村1011番地
TEL/0596-52-7707 FAX/0596-52-6930 <https://www.kouzi-takahashi.com> E-mail/takahashi@cks-fss.jp

令和2年がスタートしましたが、本年も皆様にとりまして良い年になりますようお祈り申し上げます。また、旧年中はたかはし浩司の後援会活動に対しまして、ひとかたならぬご厚情を賜り、ありがとうございました。お陰を持ちまして、たかはし浩司は町会議員の2年目を迎えさせていただくことができました。様々な課題はございますが、さらなる活動の発展に努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。今回は町議会の令和元年9月定例会と12月定例会での一般質問を中心に活動報告をいたします。

たかはし浩司後援会会長 渡邊 裕

令和元年9月議会 一般質問 【子どもにやさしい まちづくりについて】

① 「いじめ」防止と対策について

【質問】町の小・中学校でのいじめの現状と課題、防止対策を問う。

【答弁】平成30年度でのいじめの認知件数は小学校で21件、中学校で3件であり、いずれも解消しているものの、アンケートではいじめの兆候といったものが見られることから、教員対象とした研修などを行い、早期段階での認知を指導している。

【質問】児童・生徒へのスマートフォンの普及に伴い、「LINEいじめ」などが問題となっているが、ネット対策の取り組みについて質問する。

【回答】ネットいじめなどの未然防止に向け、児童・生徒を対象とした指導、保護者への啓発、教職員への研修などを行っている。

【要望】いじめにあった児童・生徒の心のケアに対応するスクールカウンセラーの増員を要望する。

② 不登校児童・生徒について

【質問】学校を30日以上「欠席」する不登校は近年増加傾向にあるが、町の小・中学校における不登校の現状を聞く。

【答弁】平成30年度の小学校の不登校児童数が10人、中学校では27人で、年々増加し、また長期化の傾向がある。

【質問】松阪市の「鈴の森教室」で不登校児童・生徒の学校復帰などの支援を行っているが、町による支援施設の創設やデジタル教材導入について、町の考え方を問う。

【答弁】不登校の児童・生徒が増加する中で、町内の施設や自宅での通信教育などは非常に有効であると思うが、支援体制や施設の課題も考えていく必要がある。

【要望】不登校生徒の中学校卒業後についても、引きこもりの防止や社会的自立を支援するため、町として切れ目のない支援を行うよう要望する。

② 上水道等の公共料金の見直しについて
【質問】上水道料金を含む公共料金の現状と課題、今後の見直し方針について尋ねる。

また値上げありきではなく、全ての公共料金の適正化と住民負担の軽減という両輪で行うべきであるが、町の考え方を問う。

【答弁】上水道料金は前回の改正から約10年が経過し、社会状況の変化の中で、料金改正は避けられない課題。

また町の公共料金全般でも、関係各課に見直しの指示を行い、料金全体の適正化を進めているところである。

【要望】公共料金の適正化にあたっては、町民負担の軽減も含めた実施を強く要望する。

令和元年9月議会 一般質問 【住みよいまちづくりについて 下水道関連一

① 下水道整備計画の見直し

【質問】下水道整備について、役場周辺の新世帯の下水道接続率など、現状と課題を尋ねる。

下水道整備計画の大胆な見直しにより、財政負担の軽減、斎宮駅のトイレ改修の進展、公共型合併浄化槽への計画転換など、町の考え方を問う。

【答弁】役場周辺の住宅開発で過去3年間に172区画が整備されたが、そのうち下水道繋ぎ込みが100件、合併浄化槽設置が72件で、浄化槽を設置する家屋が増加傾向にある。

また、下水道整備計画の見直しは、一部地域での下水道区域の廃止を検討しており、それに合わせて浄化槽区域として町の管理が実施できるか検討をしている。

【要望】令和元年6月に改正された「浄化槽法」は、公共型合併浄化槽への転換を後押しするものであり、町の負担を抑制するためにも、計画の大胆な見直しに取り組むよう要望する。

○全国での主な出来事

平成の天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子徳仁親王殿下が第126代天皇に即位されました。皇位継承に伴い、元号が「令和」に改まり、10月22日には即位を内外に宣言する「即位礼正殿の儀」が行われました。また同日に予定していたパレード「祝賀御列の儀」は、台風19号による被害に配慮し、11月10日に延期して行われました。

令和元年9月20日にラグビーワールドカップ日本大会が開幕し、日本代表は予選リーグ4戦全勝で初の8強入りを果たす快挙を成し遂げました。

東日本で台風大雨被害が相次ぎ、台風19号は10月12日に上陸し、土砂崩れなどで死者は90人を超え、台風21号に伴う記録的な大雨では、各地で河川氾濫が発生しました。



令和元年 12月議会 一般質問

【町の行政運営について】

①機構改革について

【質問】町民が知る機会が少ないことから、このような場を通じ、少しでも知ってもらえるよう、改めてこのことについて質問させていただきます。

まず、部長制導入を含む機構改革案を町はどう考え、どのように進めていくのかを尋ねる。

【答弁】部長制の導入により、行政判断のスピード化や横断的な事業の効率化、また多様化する住民ニーズへの的確な対応なども可能と考える。

なお、部長制度は、今後も検討を続け、また議会に対しても継続的に審議をお願いし、ご理解していただくよう努めていく。

【要望】職員全体を俯瞰し、適正で効率的な機構改革及び人事配置をお願いします。



平成27年度から5か年計画で整備されている津波避難タワーの最後の1基となる「根倉・行部津波避難タワー」の建設工事が進められています。



令和元年12月28日に明和中学校の新校舎の竣工式と内覧会が開催されました。

町の主な動き

〇2月1日から住民票など各種証明書の交付手数料が200円から300円になります。（コンビニ交付は200円で、マイナンバーカードが必要です。）

〇4月1日に役場の機構改革が行われる予定で、各課の名称や担当業務が変わります。

※詳しくは、広報めいわ、議会だより、町ホームページでご確認下さい。

② 職員のマネジメントについて

【質問】ここ数年、職員の早期退職者が続いている、これは町にとって大きな損失で、今後の行政運営に支障が出るのではという危惧を抱いている。

そこで、近年の早期退職者等の状況と、その背景について尋ねる。

【答弁】平成30年度は6名が定年以外で退職し、令和元年度は9名が予定されている。このような状況の背景には、職場環境が一つの要因と考えるが、様々な要因があるものと推測する。

いずれにしても、職員が元気に働いてもらえるよう、働き方改革の取り組み、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めていく。

【意見】住民サービスの充実のため、メリハリのある予算の配分を明確にするとともに、丁寧な説明も必要であると考え、町民ファーストの行政運営を今後も担っていただきたい。



今年の元旦の大淀海岸で「初日の出を迎える会」が開催されました。



今年の1月5日に消防団の出初式が行われました。

令和元年 12月議会 一般質問

【キャッシュレス決済について】

①キャッシュレス決済の普及推進と行政の役割について

【質問】現在、国はキャッシュレス決済の普及に向けた取り組みを進めているが、町としても推進と積極的な活用による「まちづくり」を進める良い機会だと考え質問をする。

まず、町のキャッシュレス決済の現状と課題、今後の普及推進、そして行政に期待されている役割について問う。

【答弁】町のキャッシュレス化の現状は、各種町税のクレジットカードによる納付、水道料金・下水道使用料のPay Pay、PayBでの納付が可能であり、他の公共料金も範囲を広げるよう取り組んでいきたい。そして町として、キャッシュレスの利用方法・適正な活用方法と合わせて、危険性やその対策などの啓発をしていきたい。

【要望】町も公共料金だけでなく、様々な知恵を出し、町民や事業所がこのメリットを十分に享受できるような施策の推進を要望する。

②キャッシュレス決済によるまちづくりについて

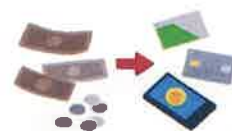
【質問】全国では、キャッシュレス決済を活用した「地域経済循環型の活性化」や、「少子高齢化に対応したまちづくり」が進められており、県内では津市や伊勢市小俣町でも取り組まれている。

そこで、キャッシュレス決済を生かした「まちづくり」について、町の現状と今後の考え方を尋ねる。

【答弁】町としても、全国の地域通貨やプリペイドカードの導入など、様々な取り組みを参考にし、国の施策でもあるキャッシュレス化に遅れをとらないよう、キャッシュレス決済の導入による地域経済の活性化などを検討していくべきだと考える。

【意見】明和町においてもキャッシュレス決済を活用した「まちづくり」を始めるいい機会であり、キャッシュレス化の波に乗り遅れないため、是非とも町独自の取り組みを進めていただきたい。

また同時に高齢者などに配慮し、リスクと使い方の丁寧な説明による普及にも取り組んでいただきたい。



※一般質問の詳しい内容については、「明和町ホームページ」の「明和町議会」、「明和町議会 議事録」をご参照下さい。

